

連峰

Renpoh

No.347

発行日●令和3年2月28日
発行人●飯田メディカルヒルズ
編集IMH広報委員会
長野県飯田市毛賀1707番地
TEL0265-26-8111(代)

特集

年頭のご挨拶



IMH 基本方針 (2021) 発表



目次

■ 特集

P2 ~ P5 理事長より年頭のご挨拶

P6 IMH (飯田メディカルヒルズ) 基本方針 (2021)

P7 ~ P9 年頭のご挨拶 (総合健診センター, 腎・透析センター, 総合リハビリテーションセンター, 診療所, 外来, 訪問看護より)

P10 老健 万年青苑 ~季節の催し物~

P10 外来診療担当医表

令和3年(2021)

《飯田メディカルヒルズ・IMH》

年頭のご挨拶

理事長 土屋 隆

新年明けましておめでとうございます。



1. 輝山会記念病院創立 47 周年

本年は輝山会記念病院創立 47 周年を迎えます。

しかし、新型コロナウイルス（COVID-19）による感染症蔓延の状況下では、恒例の年賀会の開催は、不本意ながら断念せざるを得ませんでした。

従いまして、ご支援を賜ってまいりました皆様に心からの御礼を申し上げる機会が得られなくなってしまう、誠に申し訳ございません。

あらためまして、深く感謝を申し上げますとともに、向後も変わらぬご厚情を賜いますよう、お願い申し上げます次第でございます。

2. 2021 年キーワード
『刷新』

今年の私どもグループ《飯田メディカルヒルズ・IMH》のキーワードは、『刷新』であります。

過去1年間かけて「革新」の名のもとに各部門・部署の活動状況及びその成果を子細に分析検討した結果、「旧い体制を改める」と言うより、むしろ、未だ体制が確立されていない、未成熟な部門・部署の新規蒔き直しをはかるために、人事を含めて、『刷新』が必要であるとの結論に達しました。

当院には、30～40年以上の歴史を刻んで、全国的にも高い評価を頂いてまいりました

幾つかの部門・部署がございます。

この先発部門等をお手本として、以後は、当該部門の各々が、地道な努力と力強い一歩を踏み出すよう期待しております。

3. 総合健診センターの発展

当院におきましては、総合健診センター・内視鏡検査センターは、2019年3月に新築移転致しました。その後、お陰様で順調な発展を遂げています。

当地域の多くの皆様のご期待とご支持を賜り、これを大きな励みとして、スタッフ一同は、夢と希望を抱いて意欲的に仕事に取り組んでおります。

4. COVID-19 感染症の蔓延

COVID-19による感染症患者発生が、中国・武漢で確認された後、世界中に拡散蔓延して、各国とも、その対応に終始した年でした。

私どもも、その対策に追われましたが、わが国では、年末年始には、感染者数が過去最多となり、第3波と目されていますが、その沈静化の兆しも全く見られない、不穏な新年の幕開けとなりました。

1) 感染者数

わが国では令和2年12月31日現在における感染者数は、230,304人、死者数3,414人で、長野県内では、感染者1,183人、死

者16人となっています。

当地域では、令和2年3月26日、初めての感染者が確認されて以降、数名の発生がみられましたが、12月に入ってから異常な増加を示して、12月31日現在、累計感染者数は19人となっています。

さらに、令和3年1月17日現在、累計感染者数71人と急増し、県はCOVID-19の新規感染者が急増している飯田市について、感染警戒レベルを「5」に引き上げ、「特別警報Ⅱ」を出しました。

2) 感染防禦対策

COVID-19対策としましては、飯田市内に〈地域外来・検査センター〉を設置し、各医療機関から医師、看護師および臨床検査技師等がチームを組んで、交替で務めております。

日常診療にも、COVID-19感染者が紛れ込んでくることもあり、ひと時も心休まることはありません。

私どもの医療機関においては、COVID-19の侵入を未然に防ぐために、水際対策として、出入口でご来院者に対して、検温・問診等を行うなど、人の出入りを厳重にチェックして、トリアージ（診療可否の選別）を致しております。

感染症が疑われる来院者様、とりわけ発熱を伴う救急患者様は、院外に設置した〈発熱外来〉で対応しております。

また、私どもでは、感染リスクの高い高齢者や持病のある患者様・利用者様が多数入院・入所なさっております。また、多くの透析患者様もいらっしゃいますので、全職員が細心の注意を払って、感染防禦に努めております。

3) 医療崩壊の危機

全国的には、現場の医師、看護師等スタッフたちの懸命の働きにも関わらず、重症患者さんが急増し、感染者収容の入院ベッドが不足して来ており、コロナ感染症以外の疾患の診療にも支障を来しております。

かように、医療機関も今まで経験したことのない非常事態に追い込まれて、「事実上、医療が崩壊しつつある」と、声高に叫ばれる状況に陥って来ています。

また、医業経営上も、全国的に大きな影響を受けております。私どももその例外ではありません。前年対比で今まで経験したことのない、大きな減収が見込まれております。

4) 緊急事態宣言

政界は、安倍晋三から菅義偉内閣に替りましたが、いずれの内閣もコロナ対策で苦慮されており、【緊急事態宣言】を発出しました。

不要不急の外出を控えるように要請し、小・中・高を休校にしたかと思えば、“GO TO トラベル”なるものを推進して、経済の再興を図ろうとしました。

しかし、これを突然中止して外出自粛を要請するなど、軸足の定まらない政策に、

われわれ国民は、やきもきするばかりです。

5. リニア新幹線の進捗状況

2027年に開業が期待されているリニア新幹線の工事は、順調に進んでいるように思われて来ましたが、JR東海と静岡県の話合いがつかず、残念ながらリニア開業は、延期せざるを得ない状況になって来たようです。

むすび

私どもは、如何なる状況下にあっても、『保健・医療・福祉を三位一体としたサービスを提供する』とした基本理念は、堅持してまいります。

この地域の住民の皆様に関心され、皆様が安心して明るく、前向きに有意義な人生を送って頂けますよう、全職員が一致団結して努めてまいります。

つきましては、皆様からの、より一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、皆様におかれましては、どうぞくれぐれもご自愛専一の上、『コロナ禍転じて福』となりますよう、お祈り申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2021年(令和3年)

国内発

1月17日

日曜日

豆まく日 間違えずに

例年よりも1日早く鬼は外? 豆
まきでおなじみの節分の日が今年は
124年ぶりの珍しい日に 35面

世界発

臨界前核実験 またも

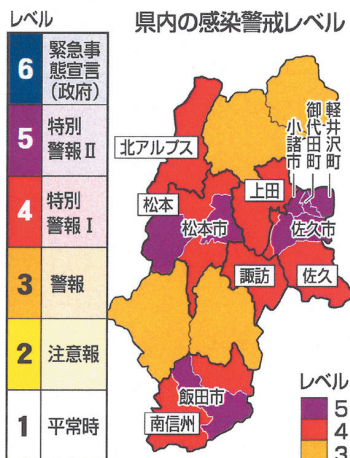
トランプ米政権が昨年11月、同国
内で核爆発を伴わない臨界前核実験
を行ったことが明らかに 7面

県が飯田市で実施する 新型コロナ対策

- ガイドラインを守っていない酒類を提供する飲食店の利用を控えるよう住民や訪問者に要請
- 中心市街地の酒類を提供する飲食店などに休業や営業時間短縮(午後8時まで)を要請
- 県の要請に応じ、休業や営業時間を短縮した事業者は協力金を支給
- 飲食店の従業員らに集中的な検査を実施
- 市や地域の商店街と連携し、感染拡大防止対策や風評被害防止対策の実施を検討
- 県の公共施設は休止などを検討、市にも検討を要請

県は16日、新型コロナウイルスの新規感染者が増えている飯田市について、感染状況を6段階で示す県独自の感染警戒レベルを「4」から「5」に引き上げ、「特別警戒II」を出した。中心市街地で酒類を提供する飲食店などに対して18日から、営業時間の短縮や休業を実施するよう要請。飲食店の従業員らには無症状の場合も含めて無料の検査を受けるよう呼び掛け、集中的な検査を実施する。

大北は「4」に



「感染が顕著に拡大している」日までの1週間で計48人の感染状態を示す「5」への引き上げは、小諸市、松本市、佐久市、北佐久郡軽井沢町、御代田町に続き6カ所目。県で、従業員13人、利用客5人によると、南信州広域圏(飯田市、下伊那郡13町村)は15日までの予

飯田市レベル5に 中心街飲食店に時短・休業要請

新型コロナ

定で実施。営業時間の短縮や酒類を提供する店にも同様休業は、JR飯田駅や市役所、県飯田合同庁舎を含む中心市街地の一部が対象で、18、19日の全期間を通して要請に応じた事業者には協力金56万円を支給する。

スナックやバーなど接待を伴う飲食店のうち、業界の感染拡大予防ガイドラインを守っていない店舗には休業を要請。順守する店には営業を午後8時までに短縮するよう求め、居酒屋やレストランなど

阿部守一知事は16日の記者会見で「一人との接触を極力減らす。感染リスクとなる会食の徹底を呼び掛ける。」

は控えるよう強くお願いしたい」と述べた。飯田市の佐藤健市長も同日、記者会見し、「2週間で感染拡大を抑え込むために、事業者、市民の協力をお願いしたい」と訴えた。県は16日、大田市立大町総合病院の集団感染が判明した北アルプス広域圏(大町市、北安曇郡4町村)のレベルを「3」から「4」に引き上げ、「特別警戒I」を出した。事業者は在宅勤務やテレワークの積極的な導入を求め、観光事業者や観光客に感染防止対策の徹底を呼び掛ける。



1873年(明治6年)創刊
発行所
信濃毎日新聞社
長野本社 〒380-8546
長野市南郷町 657番地
電話(026)
受付236-3000編集236-3111
販売236-3310広告236-3333
松本本社 〒390-8585
松本市中央 2丁目20番2号
電話(0263)
代表32-1200 報道32-2830
販売32-2850 広告32-2860
©信濃毎日新聞社2021年



天気

最高気温 最低気温

飯山 1 -2
長野 3 -1
大町 1 -5
松本 5 0
上田 6 -3
佐久 6 -4
諏訪 4 -2
木曽 5 -5
伊那 7 -2
飯田 6 -1

6時 12 18 24

18日 19日 20日

中部

6時 12 18 24

18日 19日 20日

南部

6時 12 18 24

18日 19日 20日

5%以上 5%未満

32面に詳しい天気情報

I MH (飯田メディカルヒルズ) 基本方針 (2021)

院長 露久保 辰 夫



皆様新年明けましておめでとうございます。いかがお過ごしでしょうか。当院では毎年年頭にあたり、その年の基本方針というものを策定しています。

そこで今年の当院の「基本方針 (2021)」についてご説明したいと思います。

さて、今さらではありますが昨年の出来事をふりかえってみます。読売新聞社の集計した読者の選ぶ2020年10大ニュースによりますと、1位：新型コロナウイルス感染拡大／緊急事態宣言発令、2位：東京五輪・パラリンピック延期、5位：新型コロナウイルスで著名人の死去相次ぐ、7位：新型コロナウイルスで政府が全国小中高の休校要請、8位：高校野球／プロスポーツの中止相次ぐ、と10位中半分は新型コロナウイルス関連のニュースで、いかに私たちの生活が新型コロナウイルスに影響を受けたかがわかります。この新型コロナウイルスの全国での感染拡大は今年に入っても衰えを見せず、2021年1月18日現在この飯田市も長野県独自の感染警戒レベルでは最高のレベル5となっています。また前述の10大ニュースでは10位以下に九州豪雨や台風10号などの自然災害もあがっており、近年感染症を始めとする自然の脅威に翻弄されることが多くなってきた印象があります。

奇しくも2021年度は介護報酬の改定が行われ、その5つの柱のひとつめに「感染症や災害への対応力強化」という項目が上がっています。これからの医療介護体制は、自然災害に強く、来るべき少子高齢化に対応した、持続性のある体制が求められています。

そこで私どもI MHは、地域の皆様が安心して受診でき、災害時でも頼りにしていただける「かかりつけ病院」を目指し、「かかりつけ患者さん」それぞれの“その人らしさ”に対応した医療を提供し、地域の皆様の健康を守るべく、今年の「基本方針 (2021)」を策定いたしました。

皆様、今年も我々I MHをどうぞよろしくお願い申し上げます。

基本方針 (2021)

- ▶ 感染症や災害に対する備えを強化し、地域の皆様が安心して受診できる「かかりつけ病院」を目指します。
- ▶ 「かかりつけ患者さん」がそれぞれの人生最後まで、生きがいを持って過ごせるような在宅医療を目指します。
- ▶ 健診センターのさらなる充実を目指し、より多くの地域住民の健康を守ります。
- ▶ 当地域における透析患者さん個々のニーズに対応できる透析医療の構築を目指します。
- ▶ “その人らしさ”を考えた、質の高いリハビリテーションを提供します。

年頭のご挨拶

総合健診センターより

理事長補佐・総合健診センター長 原 修



新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスが猛威を振るう中、皆様、体調はいかがでしょう？何とか、本年がより良き年でありますことを懇願するものでございます。幸い、ワクチンの見通しもついてきたようですので、「一陽来復」を願い、明るい未来に期待したいものです。

昨年は、医療機関への受診を控える方が増加していることが問題視されておりました。そのため病気が重症化し、治療が遅れたり、不幸な転帰を辿ることも多いようでした。特に、不要不急と考えられるためか、健診を受診される方も減ってしまったようです。しかし、日本人における死因の多くを占める三大疾病と呼ばれる疾患は、がん、心疾患、脳血管疾患であり、健診を受けて早期に必要な対策を立てることで予防することが可能です。

新型コロナウイルスに関しましても、基礎疾患のある方は重症化しやすいとの報告があります。その意味でも、是非健診を受けられることをお勧めします。幸い、当センターは近代的な施設に生まれ変わり、感染防止対策を徹底しており、一般患者様方とも交わることは一切ありません。

どうぞ、リラックスして、ゆったりした気分で健診を受けられることをお勧めします。

腎・透析センターより

統括部長・臨床工学部門部長 塩澤 利一



透析療法は生涯にわたって継続が必要とされ、透析治療のみならず、様々な角度から患者様をサポートをしていくことが大切です。当院では開設当初より、チーム医療として透析医療に取り組んできました。透析にあたる医師、看護師、臨床工学技士をはじめ、様々な専門的知識を有したスタッフが患者様と関わりをもって対応しています。

脳梗塞や骨折等の合併症の治療において、最近ではリハビリテーションとの関わりが重要視されるようになり、当院リハビリ療法士と連携し、早期の回復が得られております。高齢化が進むとともに、長期の合併症としてのシャントトラブルは直接生命に関わる重大なことで、当施設のバスキュラーアクセスセンターでは、当院の患者様はもちろん飯田下伊那地域で透析を受けている患者様に何らかのトラブルが発生した際にも随時対応しております。

また当院は、通院が困難な方には相談に応じて送迎をし、家庭での生活が難しくなっている方々については、長期入院ができる病棟や、併設する老人保健施設・特別養護老人ホームへの入院・入所をすることで、安心して治療を受けながら生活が送れる唯一の医療機関でもあり、当該地域に限らず随時受け入れをしています。各専門的職種がチームとして結束し、患者様それぞれの要望に応え、透析患者様を支えていく存在になれるよう本年も努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、当センターでも感染対策に万全を期してはおりますが、皆様にも日々の体調管理に十分留意をしていただきますようお願い致します。

年頭のご挨拶



総合リハビリテーション センターより



リハビリテーション部門統括部長 清水 康裕



新年明けましておめでとうございます。

2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中からたくさんの人々が訪れるはずだった夏が、予想すらできなかった新型コロナウイルスの蔓延で延期となり、そのままマスクと消毒とソーシャルディスタンスが当たり前となった2021年を迎えました。

パラリンピックへの参加を目指す競技者に、私が少し関係させて頂いている方がいます。開催されるのかもわからないコロナ禍で、感染対策をとりながら競技を継続する姿や気構えを思うと胸が熱く痛くなりますが、心から声援を送りたいです。

我々リハビリテーション部門も、日々細心の感染対策を講じながら医療安全を踏まえた『質の高い』治療の提供を継続していきたいと思います。そして、今まで以上に緊張感を持ち、新たな事を取り入れながら、見えない脅威に臆すること無く前を向いて進化していきたいと思います。



診療所より



副院長・統括診療所長 仁科 裕之



新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行によって、日常生活が一変してしまった年でありました。年末にかけては国内での感染の急速な拡大があり、都市部を中心に医療崩壊の危機に見舞われる状況が続いていますが、地方にもその影響が近づいて来るのも時間の問題と思われます。日常生活にも制限があり、ストレスも溜まってしまう日々がこれからも続くと思われますが、何とか乗り切らなければなりません。

診療所でも新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けての対策が必要となります。来院される患者さんは比較的高齢者の方が多いため、院内感染も気をつけなければいけない状況です。また、訪問診療も行っているため、そこでの感染や感染の拡大にも気をつける必要があります。

診療所では現在、体調不良のある患者さんは診療時間の後半に診療を行うようにして、定期通院の患者さんと診療時間を分ける取り組みを行っています。今後診療所を受診される際は、是非時間差での来院にご協力をお願いいたします。

大切な家族や友人と気兼ねなく会える日常が早く戻る事を願って、これからも新型コロナウイルス感染症の収束に向けて日常生活を頑張りましょう。

年頭のご挨拶



外来より



外来師長 近藤 香織



新年明けましておめでとうございます。

昨年から新型コロナウイルスが猛威を振るっており、患者様も日々不安と戦いながらお過ごしのことかと思います。当院の外来では、地域の皆様が気軽に質の高い医療を受けられる体制を整えております。アルコール消毒の設置、こまめな換気、また環境の整備といった常に清潔な空間を保つことに今後も真摯に取り組めます。

かかりつけ病院として安心してお越し頂ける様、感染対策を徹底することを心がけ、これからも地域の皆様の健康的な生活を下支えしていくことをお約束すると共に、信頼される病院であり続けるために日々尽力して参ります。

発熱外来の設置、玄関先での検温など、来院の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、ご協力頂き誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスがいつ終息するかわからない生活が続きますが、いつもと変わらない日々が送れるようにサポートさせていただきますので、健康に不安が出た際には遠慮なく受診してください。



訪問看護より



訪問看護師長 實原 智映



新年明けましておめでとうございます。

輝山会の訪問看護は、IMHグループ内に位置づけられており、本院と診療所の医師、看護師、リハビリ療法士、管理栄養士等と密に連携を取り、また地域の病院の医師や、介護支援専門員、様々な事業所とも連携し、利用者の課題に対し相談し合って対応させて頂いております。

昨年からのコロナ禍の中、入院・入所すると面会もままならず、顔を見る事も難しいという状況で、家での介護を希望される方が増えてきています。

また近年は、最期を家で迎えさせてあげたいと在宅での看取りを希望される方も増えてきているように感じます。

ご利用者様の中には、40年前からずっと病院に通われていたお付き合いの長い方もおられます。これからも信頼関係を築きながら、住み慣れた家で安心して安定した療養ができるよう、また苦痛なく生活が送れるよう、ご本人はもちろんご家族の声を傾聴して寄り添い、肉体的にも精神的にも支援していきたいと思っております。

本年もよろしくお願い致します。

老健 万年青苑 ～季節の催し物～

令和2年12月28日（月）、老健 万年青苑では湯船に生のりんごを浮かべ、りんご風呂を行いました。りんごの皮にはビタミン・ミネラルが豊富で血行が良くなり、保湿や美肌効果が期待されます。ぷかぷか浮かぶりんごが目にも楽しく、甘酸っぱいりんごの香りに癒されるひと時となりました。

ご家族様との面会が難しい日々が続きますが、季節の催しを通して入所者の皆様に笑顔で過ごしていただけるよう努めてまいります。現在はタブレットによる面会を行っています。ご予約はお電話で承っておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

りんご風呂



松飾り



外来診療担当医表

※ 令和3年1月1日現在

診療科目	診察時間	月	火	水	木	金	土	日
総合外来 (外科・内科)	9:00～12:00	原 修 前本 勝利 下平 隆寛	露久保 辰夫 土屋 公威 下平 隆寛	原 修 露久保 辰夫	前本 勝利 下平 隆寛	前本 勝利 露久保 辰夫	原 修 仁科 裕之 下平 隆寛	
	16:00～18:00	平井 敦	仁科 裕之	下平 隆寛	平井 敦	原 修		
リハビリ科	9:00～12:00			清水 康裕 近藤 和泉(月1回)	(交代制)			
摂食嚥下	14:00～17:00			(交代制)				
義肢装具	13:30～16:00				(交代制)			
整形外科	9:00～12:00		川村 清志			川村 清志		(隔週)
	14:00～16:00							(隔週)
女性外来 (予約制)	9:00～12:00	足立 立子						
CAPD	9:00～12:00				原 修			
泌尿器	9:00～12:00						梅本 幸裕 河合 憲康 水野 健太郎 (交代制)	
循環器	9:00～12:00							(交代制) [第2・4週]